

平成29年度事業計画

I 運営方針

少子高齢化の進行、高度化する科学技術の進展に合わせ、国民のニーズも一層多様化していく中で、身体に障害を持つ人の日常生活や社会生活を支援していくため、より良質で適切な補装具の提供に努めるとともに、各種セミナー等を通して知識や技術を高め、全会員が共通の理解と認識のもとに相互に連携をして 斯界の発展に努め、もって、我が国の医療・福祉の向上に寄与していくことを基本とする。

II 事業計画

協会の活動は、分野ごとに委員会を設けて行うこととしており、平成29年度は、それぞれ次の事業を行うものとする。

1 専門委員会の活動

1) 研修委員会関係

(1) セミナーの開催

① 補装具製作事業者管理者等セミナー

- ・ 時 期 平成29年10月28日(土) (予定)
- ・ 場 所 東京都江東区有明 「タイム24ビル・研修室」(予定)
- ・ 参加者数 150名 (予定)
- ・ 後 援 厚生労働省(予定)、公益財団法人テクノエイド協会(予定)
- ・ 内 容 (研修委員会で検討)

(2) 支部開催セミナー等支部活動の支援

各支部が行う各種セミナー等への助成等支部活動の支援

2) 補装具委員会関係

(1) 補装具の適正価格制定のための各種取り組み等

- ①平成30年度価格改定に向けた重点事項に係る要望
- ② 国立障害者リハビリテーションセンター研究所が行う補装具製作の実態調査に対する協力等

(2) 国の補装具評価検討会への参加

(3) リハビリ機器等に関する各種委員会等への対応

3) 治療用装具特別委員会関係

- (1) 国の「社会保障審議会医療保険部会治療用装具療養費検討専門委員会」への参加

- (2) 治療用装具、特に既製品のリスト化に関する各種データの収集、資料の作成、製作事業者における意見の集約、提言等
- (3) 治療用装具の療養費代理受領制度導入に関する取り組み
- (4) 治療用装具療養費検討専門委員会の審議状況等の会員への周知・伝達

4) 広報委員会関係

- (1) 協会誌の発行（年4回（4月、7月、10月、1月））・編集委員会の開催
- (2) 義肢装具士資格制度に係る啓蒙・普及に関する取り組み
 - ・「義肢装具士之証」の交付
 - ・義肢装具製作に関するリーフレットの作成・配付
- (3) 新会員入会促進の取り組み（支部長等連絡協議会と連携）
- (4) ホームページの運営管理等

5) 50周年記念事業検討委員会関係

- (1) 創立50周年記念式典・祝賀会の実施
- (2) 50周年記念誌の発行（資料の蒐集・作成、原稿執筆依頼及び編集）

6) 倫理委員会関係

倫理綱領の周知・啓発等

7) 支部長等連絡協議会関係

- (1) 各支部の現状等について情報を共有するとともに、支部の実情等をふまえて、理事会・執行役員会への提言、協議議案の提案等を行う。
- (2) 協会の方針や取り組み・伝達事項等を会員に的確に伝達し、支部間に認識や活動等に差異が生じないように努め協会と各支部の円滑な運営を行う。
- (3) 新入会員の入会促進について、広報委員会と連携をして取り組む。

2 「日本義肢協会賠償責任保険事業」の実施

製造物責任法に基づき、当協会の保険事業として実施している「日本義肢協会賠償責任保険」（団体保険）事業について、会員事業者の賠償資力確保及び経営の安定化等を図るための事業を前年度に引き続き実施する。

・事業名	日本義肢協会 賠償責任保険事業
・保険加入者	日本義肢協会会員事業所従事者
・保険期間	1年(H.29.4.1~H.30.3.31)
・保険金額	2億円(上限)
・保険料	1人年間 約1,710円

・委託保険会社 三井住友海上火災保険株式会社

3 障害者の社会参加促進のための各種大会等協力事業

1) 全国障害者スポーツ大会における業務協力

第17回全国障害者スポーツ大会「笑顔をつなぐ愛媛大会2017」の主催者（愛媛県知事）からの要請を受け、同大会における車椅子等補装具の貸与及び修理等にかかる技術者の派遣協力を行う。

- ・主催 文部科学省、愛媛県、(公財)日本障がい者スポーツ協会、
- ・時期 平成29年10月28日(土)～10月30日(月)
- ・会場 松山市、今治市、八幡浜市、大洲市ほか
- ・技術者派遣 中国・四国支部会員による車椅子等用具の貸与、技術者派遣等協力

2) 技能検定試験における業務協力

職業能力開発促進法に基づく技能検定試験の実施に当たり、中央職業能力開発協会の要請を受け、本年度も次の業務について協力を行う。

- ・業務 技能検定試験における義肢装具製作部門の試験委員派遣
・義肢製作関係 3名、 装具製作関係 3名
- ・期間 平成29年4月～30年3月

4 義肢装具関係団体が行う学術大会等に対する協力

一般社団法人 日本義肢装具士協会及び一般社団法人日本義肢装具学会が開催する義肢装具に関する学術大会等に対する協力及び参加

- 1) 日本義肢装具士協会学術大会：7月22日(土)～23日(日) 於：福岡市
- 2) 日本義肢装具学会学術大会：10月8日(日)～9日(月) 於：東京都

5 義肢装具士養成校卒業生に対する顕彰事業

義肢装具士養成校において、学業に専念し優秀な成績を修め、義肢装具士として将来が囑望され、医療の普及高揚に寄与することが期待される学生に対し、学校長の推薦を経て、日本義肢協会賞を授与し顕彰を行う。

- ・全国9校 各校各学科1名(※) 計10名 (※神戸医療福祉専門学校は2学科制)

6 補装具費の支給基準の印刷・配付等

平成29年度の補装具費の支給基準(完成用部品の関する通知)の改正等に合わせ、会員に周知するため冊子にして配付する。

7 国内情報収集、関係団体等との意見交換等

- 1) 国及び関係行政機関における補装具製作等に関する各種の情報・資料の収集を行い、

会員に対する周知等を行う。

2) 義肢装具関係団体との意見交換会・連絡協議会への参加

一般社団法人日本義肢協会、一般社団法人 日本義肢装具士協会、一般社団法人日本義肢装具学会の義肢・装具分野関係 3 団体による連絡協議会の開催（共通の課題等について、意見交換や連携した活動を行うことにより斯界の発展に努める）。

3) 公益財団法人テクノエイド協会が主催する「福祉用具関連団体交流会」への参加、本交流会開催の会員へのお知らせ、交流会における関連事項等について会員への情報提供等を行う。

8 付帯事業

協会が所有する不動産（義肢会館）の一部を、協会と関係の深い団体に事務所等として低廉な料金を貸与する等資産活用の事業を行う。

- 「事務室及び会議室の貸与」
- ・ 一般社団法人 日本義肢装具士協会
 - ・ 一般社団法人 日本義肢装具学会
 - ・ 日本義肢装具等製作事業者政治連盟

9 その他

- ・ 会員名簿、賛助会員名簿の作成・配付・
- ・ 主要行事予定表………（別紙参照）

以 上